

- 実施年月日 2014年12月17日(水) 小雨 気温:9°C(11時) 9時30分~11時50分
- 調査場所 武蔵台公園周辺
- 参加者 市担当部署:3名/自然環境調査委員:15名(昆虫担当委員:4名)
- 報告者 小泉 共司
- 確認科・種 昆虫=13科・17種 ❖=新しく確認されたもの・2種

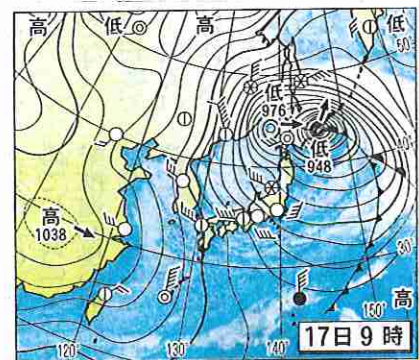
科	種名・形態	確認場所	確認時条件
●カマキリ科	オオカマキリ・卵囊	武蔵台・B	目撃 撮影
●ヘリカメムシ科	ハリカメムシ	武蔵台・B	目撃 撮影
●クヌギカメムシ科	クヌギカメムシ・卵塊	武蔵台・A・D	目撃 撮影
●ヒラタカメムシ科	ノコギリヒラタカメムシ	武蔵台・D	採集 撮影
●クサカゲロウ科	クサカゲロウ	武蔵台・A	目撃 撮影
●サシガメ科	ヤニサシガメ	武蔵台・A	目撃
●オオヨコバイ科	ツماغロオオヨコバイ	武蔵台・A・D	目撃
●シジミチョウ科	ウラギンシジミ	武蔵台・A	目撃
	ムラサキシジミ	武蔵台・A	目撃
	ヤマトシジミ	武蔵台・A	目撃
●ミノガ科	オオミノガ・蓑	武蔵台・B	目撃
●シャクガ科	❖ウスバフユシャク・メス	武蔵台・A	採集 撮影
	クロスジフユエダシャク・メス	武蔵台・A	採集 撮影 台紙
●ハナアブ科	ヒメヒラタアブ	武蔵台・A	目撃
	ホソヒラタアブ	武蔵台・A	目撃
●ミツバチ科	ニホンミツバチ	武蔵台・A	目撃
●テントウムシ科	❖ヒメカメノコテントウ	武蔵台・C	目撃

《省より》 前日の発達した低気圧通過後に、強い寒気団の南下と発達した低気圧（爆弾低気圧）の関係で、12月の調査に関して期待をもつことが難しいと判断された中での実施。

結果的には、前日の雨天から、冬型天気に移行段階であったので、思っていたより気温がやや高かった。確認された昆虫数に影響したのであろうと判断された。その中で、ノコギリヒラタカメムシ、ウスバフユシャク・メス、ヒメカメノコテントウ等の確認は、ひとつの成果であると判断した。

調査地点・武蔵台公園周辺の（フユシャク・メス）の確認について、精査する必要があるのではないかと思われた。現時点での（メス）の確認・3種のみである。調査する機会を多く持つことの必要性を感じるとが、現段階の調査方法にも限界がある。

(当日の天気図)



新刊図書案内【虫博士の育ち方・仕事の仕方】

高家 博成・文/中山 れいこ・編 A5版 303頁 初版第一刷
2014年07月 (株)本の泉社発行 定価=1800→+税

- ◆高家氏の主な経歴は、都立多摩動物園・昆虫飼育係長として、同園の昆虫館作成に深く関わりを持つ。(NHK)夏休みこども科学電話相談室・主に昆虫関係の解説者としても知られている。府中市在住の人である。
- ◆本書は、7項より構成。生い立ちから、最近の滑動に及んでいる。【個人史】と言える内容である。(子供科学電話相談室)で回答した内容を中心、多摩動物園・昆虫館の展示方法の苦労話などなど……。
- ◆子ども時代の好奇心が未来への扉を開く。その好奇心が昆虫への誘いと導く。



❖ 12月の武蔵台公園・昆虫写真 ❖

●実施調査日 2014年12月17日(水) 晴 9時30分～11時50分

●参加者 市担当部署:2名/調査委員:15名(昆虫担当委員:4名)

【写真説明】

- 上段左:『ウスバフユシヤク』メス(シャクガ科)……………メスとして初確認された
 上段右:『クロスジフユエダシヤク』メス(シャクガ科)…フユシヤクガとして一般的
 中段左:『ヤニサシガメ』幼態(サシガメ科)……………スギ類の樹皮・裏側で生活
 中段右:『ヤマトクサカゲロウ』(クサカゲロウ科)……………初冬には緑色が目立つ
 下段左:『ノゴギリヒラタカメムシ』(ヒラタカメムシ科)…ケヤキ類の樹皮・裏側で越冬
 下段右:『ハリカメムシ』(ハリカメムシ科)……………成虫で越冬

(20141225 小泉作成)

